

株式会社 JVCケンウッド

2019年3月1日

当社グループの無線通信技術を生かし、さまざまな業務用途に向けてデジタル業務用無線システムソリューションを提案

「IWCE 2019」(International Wireless Communications Expo 2019) JVCケンウッド ブースのご案内

～携帯電話回線を利用した PoC (PTT^{※1}-over Cellular)サービスと、DMR^{※2} TIER III デジタル・トランキング無線システムを展示～

株式会社 JVCケンウッドは、3月6日(水)から7日(木)まで(現地時間)、アメリカ・ラスベガスで開催される世界最大規模の業務用無線通信機器/システムの展示・商談会である「IWCE 2019」(International Wireless Communications Expo 2019)に出展いたします。

本ブースでは主な展示として、携帯電話網を利用し従来のトランシーバーと同様の機能性をスマートフォンや対応通信機で提供する PoC (PTT^{※1}-over Cellular)サービス“BOUNDLESS”とその対応端末に加え、自動回線接続(Multi-channel Access)方式を採用し、高収容高効率な通信を実現する DMR^{※2} TIER III デジタル・トランキング無線システムを展示します。

当社には、無線子会社として EF Johnson Technologies, Inc. (アメリカ) や Zetron Inc. (アメリカ)、Radio Activity s.r.l. (イタリア) があり、今回の「IWCE 2019」においても、この当社グループの総合力を生かし、警察・消防などの公共安全市場をはじめ、電気・ガス・水道などの公共サービス・社会インフラやエンタープライズ市場に向けて、デジタル業務用無線システムソリューションを提案します。

※1 : Push-to-talk・・・Talk ボタンを押下/開放するだけで即座に送信/受信を行える無線機の基本動作。

※2 : Digital Mobile Radio・・・12.5kHz 狭帯域で 2 スロット TDMA(時分割多重アクセス)方式を採用したデジタル業務用無線機の標準規格。



< 当社ブースイメージ >

<主な出展内容> (当社ブース番号 : 1925)

1. 業務用スマートフォン向け PoC(PTT^{※1}-over Cellular)サービス“BOUNDLESS”&対応端末

携帯電話網を利用し、従来のトランシーバーと同様の機能性をスマートフォンや対応通信機で提供する PoC (PTT^{※1}-over Cellular)サービス“BOUNDLESS”と本サービスに対応する端末を展示します。業務用無線で培ってきた堅牢性を装備した業務用スマートフォンなどを紹介するとともに、LTE 通信を利用した広範な通話エリアで使用可能なサービスを提案します。



<対応端末>

2. 高収容高効率な通信を実現する“DMR^{※2} TIER III デジタル・トランキング無線システム (3月上旬発売予定)

当社の DMR (Digital Mobile Radio) ^{※2}方式デジタル無線システムは、2018 年度より世界最高峰の二輪レース “MotoGPTM” おける通信手段として採用され、円滑なレース運営に貢献しています。この実際の運営でのフィードバックを生かし、一般業務用無線市場向けに発売を予定 (3月上旬) している最新の DMR^{※2} TIER III デジタル・トランキング無線システムを展示します。本システムは、自動回線接続 (Multi-channel Access) 方式を採用しており、従来の TIER II 方式と比べ高収容高効率な通信を実現。より通話量を増やすことを可能にします。

3. マルチプロトコル対応デジタル無線機「NX-5000」「NX-3000」シリーズ

NXDNTM方式と DMR^{※2}方式に対応するマルチプロトコル対応デジタル無線機「NX-3000」シリーズと、P25^{※3}方式にも対応する上位モデル「NX-5000」シリーズを展示します。なお、両シリーズともに対応する DMR^{※2}方式は、バージョンアップ (3月中) により、より高位の DMR^{※2} TIER III にも対応。1 台で複数のデジタルプロトコルに対応することにより、さまざまなユーザーニーズに柔軟に対応します。

※3： 米国の警察や消防などパブリックセーフティ(公共安全)市場向け無線通信の標準規格。



<「NX-3000」シリーズ>

4. パブリックセーフティ市場向け P25^{※3} 無線システムソリューション

事件・事故現場などの厳しい環境下でもチームコミュニケーションが求められる警察・消防・救命救急市場に向けて開発した、送信出力110W クラスの高出力仕様モバイル機「NX-5000H」や「VM7000H」シリーズ、および高い堅牢性と操作性を有した P25^{※3}方式のポータブル機「VP6000」シリーズを展示。パブリックセーフティ(公共安全)市場向け無線システムソリューションとして提案します。



<「NX-5000H」/「VM7000H」シリーズ>



<「VP6000」シリーズ>

5. 無線システムとアプリケーションをパッケージした各分野向け無線ソリューションシステムを展示

当社の無線システムと、パートナー企業が開発したアプリケーションサービスを各分野向けにパッケージしたソリューションシステムを展示します。

(1) 刑務所・商業施設向け構内位置情報管理システム

刑務所や商業施設内でのスタッフの位置情報をタイムリーに取得し、適切な人員配置を可能にするシステムを提案します。「NEXEDGE[®]」シリーズ (端末) に搭載された GPS の位置情報と、屋内に設置した Bluetooth[®]ビーコンにより、スタッフの位置および状態のリアルタイム追跡と、報告および記録を可能にするシステムです。

(2) 基地局向け小型 IP ディスパッチシステム「CommandIQ」

基地局やオペレーションオフィス向けにスペースを有効活用できる小型 IP ディスパッチシステム「CommandIQ」を展示します。無線通信に利用する「NEXEDGE[®]」無線機は IP リモート接続に対応するため、どんな場所にも設置できます。当社グループの Zetron 社製「MAX」がハンドセットと一体となったことにより、省スペースでディスパッチ業務が可能となるシステムです。

6. 公共サービス向け「NEXEDGE[®]」ネットワークソリューション

公共サービスや民間企業向けには、高いスケラビリティを備え、高信頼性を提供する「NEXEDGE[®]」シリーズを使った広域通信ネットワークを含むトータルソリューションを提案します。

<「IWCE 2019」の概要>

- ・名称 : 「IWCE 2019」(International Wireless Communications Expo 2019)
- ・会期(展示) : 2019年3月6日(水)、7日(木)
- ・会場 : Las Vegas Convention and World Trade Center (米国ネバダ州ラスベガス市)
- ・URL : <https://www.iwceexpo.com/iwce19/Public/Enter.aspx>

●商標について

- ・「NEXEDGE[®]」は株式会社 JVC ケンウッドの商標または登録商標です。
- ・「NXDN[™]」は株式会社 JVC ケンウッドとアイコム株式会社の商標または登録商標です。
- ・Bluetooth[®]のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- ・記載されている会社名、製品名は各社の商標およびその他の国における登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】株式会社 JVC ケンウッド 企業コミュニケーション部 広報・IR グループ

TEL: 045-444-5310 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3 丁目 12 番地

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

www.jvckenwood.com